

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

西暦 2025 年 9 月 2 日作成 第 1.1 版

研究課題名	下部尿路症状が認知症のリスク因子について検討する観察研究
研究の対象	JMDC データ抽出可能期間である 2005 年 1 月～ 2024 年 6 月の期間に下部尿路症状の診断名があった診断当時 20 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	本研究で使用する JMDC 保険者データベースは、健康保険組合に所属する加入者の台帳、加入者が医療機関を受診した際に発行される全レセプト、健康診断結果で構成されています(2005 年 1 月から 2024 年 6 月までのデータ)。また、JMDC 後期高齢者データベースは地方自治体から提供された 75 歳以上の後期高齢者の方のデータで構成されています(2018 年 4 月から 2024 年 3 月までのデータ)。 本研究では両方のデータベースを研究対象として、株式会社 JMDC 個人が特定できないよう加工された情報の提供を受けて、解析を行います。
研究の方法	下部尿路症状(おしっこの問題)が認知症に影響を与える可能性があるという考えについての研究です。特に、年齢が進むにつれておしっこのトラブルが増えることが、認知機能の低下や認知症のリスクを高めるかもしれないという仮説です。この研究では、実際のデータを使ってその仮説が正しいかどうかを調べることを目的にしています。 認知症が増えている今、早期に予防策を取ることが重要です。この研究が進むことで、下部尿路症状が認知症のリスクと関係があることが分かれば、予防方法を見つける手がかりになるかもしれません。すでに JMDC データベースに登録されている下記の情報を用いて研究を行うため、研究対象となる方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 4 月 30 日(研究機関の長の許可日) ～ 西暦 2027 年 12 月 31 日 情報の利用および提供を開始する予定日: 西暦 2025 年 4 月 30 日(研究機関の長の許可日)
研究に用いる 試料・情報の項目	上記対象となる方の登録情報から以下の情報を使用します。 【患者群】 (1) 登録情報 1) データ期間内に JMDC 保険者データベースに在籍する加入者のセグメント別の人数 2) データ期間内に JMDC 保険者データベースに在籍する加入者情報(生年月/性別など) 3) 抽出条件に合致した患者の基本情報(生年月/性別など) 4) 患者が受診した医療施設の情報 5) レセプトの基本情報(診療年月、診療科など) 6) レセプト上の傷病情報 7) レセプト上の医薬品情報 8) レセプト上の医科診療行為情報 9) レセプト上の調剤診療行為情報 10) レセプト上の材料情報 11) 傷病ファイルに紐づくマスタ情報

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

	<p>12) 医薬品ファイルに紐づくマスタ情報 13) 診療行為ファイルに紐づくマスタ情報 14) 材料ファイルに紐づくマスタ情報 15) 加入者が受けた健診情報</p> <p>【患者対照群】</p> <p>(1) 登録情報</p> <p>1) データ期間内に JMDC 保険者データベースに在籍する加入者のセグメント別の人数 2) データ期間内に JMDC 保険者データベースに在籍する加入者情報 (生年月/性別など) 3) 抽出条件に合致した患者の基本情報 (生年月/性別など) 4) 患者が受診した医療施設の情報 5) レセプトの基本情報 (診療年月、診療科など) 6) レセプト上の傷病情報 7) レセプト上の医薬品情報 8) レセプト上の医科診療行為情報 9) レセプト上の調剤診療行為情報 10) レセプト上の材料情報 11) 傷病ファイルに紐づくマスタ情報 12) 医薬品ファイルに紐づくマスタ情報 13) 診療行為ファイルに紐づくマスタ情報 14) 材料ファイルに紐づくマスタ情報 15) 加入者が受けた健診情報</p>
<p>試料・情報の授受</p>	<p>本研究では、株式会社 JMDC が全国の健康保険組合に所属する加入者の台帳、レセプト、健康診断結果から収集した、特定の個人を識別できない研究対象者の情報のみを使用します。情報の提供を受ける際は、株式会社 JMDC よりパスワードを設定した HDD の形で郵送にて研究事務局に送付されます。また収集した情報は、解析のため共同研究機関と共有します。共同研究機関に対しても、パスワードを設定した HDD の形で情報を郵送します。</p> <p>情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。</p>
<p>個人情報の管理</p>	<p>情報は株式会社 JMDC から当院へ、個人を特定できない状態で提供されます。</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：横浜市立大学附属病院 泌尿器科 伊藤悠城</p>
<p>利益相反</p>	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究における</p>

情報公開用文書

(多機関共同研究用)

	開示すべき利益相反はありません。
研究組織 (利用する者 の範囲)	【研究代表機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 泌尿器科 伊藤悠城 【共同研究機関と研究責任者】 順天堂大学 健康データサイエンス学部 准教授 坂巻顕太郎
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。</p>	
問合せ先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 泌尿器科 (研究責任者・問い合わせ担当者) 伊藤悠城 電話番号：045-787-2800 (代表)	